



地域みなさんと公園づくりをしています！

戸田市では、公園の機能と役割を市域全体で整理するとともに、公園が持つ潜在的な魅力を引き出すことを目的に公園リニューアル計画を策定しました。大前公園は、駅に近く、他の公園・緑地・行政施設等の誘致圏に重なるという特徴があることから、様々な賑わいのポテンシャルに伸びしろがあると考え、リニューアルのモデル公園に選定しました。

大前公園をリニューアル整備するにあたり、地域住民のみなさんの声を反映して整備計画を作成したいと思い、公園づくりワークショップを開催するに至りました。ワークショップは3回実施し、11月23日に第3回ワークショップを開催いたしました。

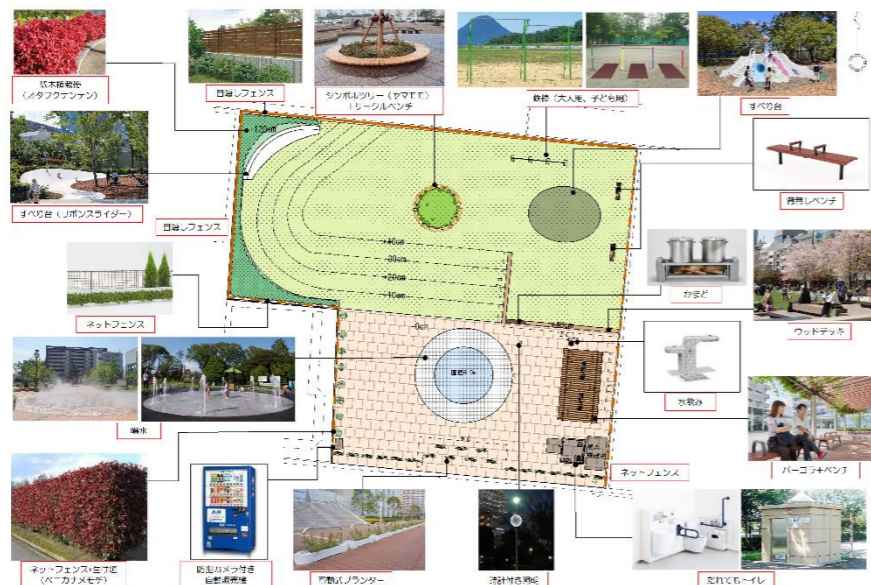
ワークショップスケジュール

- 第1回 10月2日(土)：大前公園でやりたいことや必要な施設について考えていきます
- 第2回 11月3日(水)：新しい大前公園をみんなでイメージしていきます
- 第3回 11月23日(火)：新しい大前公園をどのように使っていくか考えていきます

第3回 大前公園ワークショップを開催しました！ 「新しい大前公園のこれからを考えてみよう！」

第3回目のワークショップは「新しい大前公園のこれからを考えてみよう！」というテーマで、意見交換を行いました。

はじめに、第2回ワークショップのふりかえりを行いました。その後、第2回ワークショップの意見を基にコンサルタントが作成した計画案を提示しました。提示された計画案について参加者から意見を募り、みんなで共有しました。



こんな意見が出ました！

第3回目のワークショップではコンサルタントが作成した計画案について、様々なアイデアや意見が出ました。以下に意見の一部をご紹介します。

●噴水について

- ・他の公園がミストタイプなら差別化を図るために、じゃぶじゃぶ池噴水の方が良い。
- ・衛生的にしっかりしていれば、じゃぶじゃぶ池噴水の方が面白みがあって良い。
- ・プールに準ずる水遊び施設が必要。プールに代わるものとしたら、直接水が出るタイプがよい



●シンボルツリー・日陰について

- ・シンボルツリーがあって、日陰があるとありがたい。ヤマモモではなくて、どんぐりになるような常緑の樹種がよい。
- ・夏休みのラジオ体操の時早朝だが、日差しが強く木陰があると良い。
- ・真ん中にシンボルツリーを配置すると広場として使いづらい



●かまどベンチ

- ・防災訓練は消防と一緒に人工呼吸訓練を行ったり、保存食を調理したりしている。お湯を沸かすのはガスコンロを使っている。
- ・かまどベンチはそんなに使わないと思う。



●すべり台

- ・すべり台のデザイン案を3案くらい用意して、子どもに選んでもらうと公園に愛着が湧くのではないかな。



●鉄棒

- ・大人用の鉄棒があったほうが親子で楽しめる。



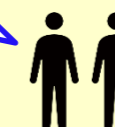
●高低差

- ・防災訓練をするのには平らな部分が多いほうがよい。



●舗装

- ・タイルに模様をつけ子供が遊べるようにしてほしい。



今後は、全3回のワークショップで参加者のみなさまから得た意見を踏まえて、大前公園のリニューアル計画案の作成を進めていきます！